

レミッチOD錠 2.5 μ g

【この薬は？】

販売名	レミッチ OD 錠 2.5 μ g REMITCH OD TABLETS 2.5 μ g
一般名	ナルフラフィン塩酸塩 Nalfurafine Hydrochloride
含有量	1錠中 ナルフラフィン塩酸塩 2.5 μ g (ナルフラフィンとして 2.32 μ g)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、そう痒症改善剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、オピオイド κ （カッパ）受容体に作用することにより、かゆみを抑えます。
- ・次の目的および病気の人に処方されます。

次の患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限る）

血液透析患者、慢性肝疾患患者

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。医師の指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にレミッチに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・高齢の人
 - ・肝臓に重度の障害のある人
 - <血液透析によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用している人の場合>
 - ・肝臓に中等度の障害のある人
 - <慢性肝疾患によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用している人の場合>
 - ・腎臓に障害のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量、飲む回数、飲む時間帯は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一日量	1錠 (2.5 μ g)
飲む回数	1日1回夕食後または就寝前

1日の最大使用量は、2錠 (5 μ g) までです。

血液透析によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用している人の場合、この薬の使用から血液透析開始までは十分な間隔をあけてください。

●どのように飲むか？

この薬は、舌の上のせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし、唾液のみで飲むことができます。また、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲むこともできます。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

夕食後の使用を指示されている場合、飲み忘れに気が付いたのがその日の就寝前ならば、1回分を飲んでください。それ以外の場合は、飲み忘れた分はとばして、次に飲む時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

幻覚、不安、ひどい眠気、眠れないなど症状があらわれるおそれがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、めまいなどがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないよう注意してください。
- ・この薬により、プロラクチン値上昇などの内分泌機能異常があらわれることが

あるので、適宜検査が行われることがあります。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
- ・グレープフルーツジュースはこの薬の血漿中濃度を高め、作用を増強することがありますので、同時に使用しないようにしてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだのだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐
胸部	吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる

上記の副作用以外に、血液透析によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用している人では、不眠、便秘、眠気が使用開始後2週間以内に多く認められています。また、慢性肝疾患によるそう痒症の改善のためにこの薬を使用している人では、不眠、眠気、便秘、頻尿・夜間頻尿が使用開始4週間以内に多く認められています。このような症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の形は？】

形状	円形のフィルムコーティング錠 
PTP シート	
直径	7.1mm
厚さ	約 3.2mm
重さ	約 134mg
色	やわらかい紫みの赤色～くすんだ赤色
識別コード (PTP シートおよび錠剤に表示されています)	TR12

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ナルフラフィン塩酸塩
添加物	D-マンニトール、チオ硫酸ナトリウム水和物、クロスポリビドン、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、乳糖水和物、マクロゴール400、酸化チタン、三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：東レ株式会社
医薬・医療情報部
電話：03-3245-8619
受付時間：9時00分～17時30分
(土、日、祝祭日、当社休日を除く)

販 売 元：鳥居薬品株式会社
(<http://www.torii.co.jp>)
お客様相談室
電話：0120-316-834
受付時間：9時00分～17時30分
(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)

プロモーション提携（慢性肝疾患患者におけるそう痒症）：
大日本住友製薬株式会社
(<http://www.ds-pharma.co.jp/>)
くすり情報センター
電話：0120-885-736
受付時間：9時00分～17時30分
(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)